

令和7年度第1回江南市地域公共交通会議検討部会 会議録

- 日 時 令和8年3月19日（木） 午後3時～午後5時10分
- 場 所 江南市防災センター3階仮眠待機室・救護室
- 委 員 出席13名（松尾 幸二郎、臼井 雅宏、本地 祐一郎、小林 小百合、長屋 涼、高橋 正博、尾関 幸仁、森 ケイ子、原田 光一郎、伊藤 光洋、大野 一造、小森 洋子、鵜飼 篤市）

- 傍聴者数 6人

●資 料

- ・資料1 江南市地域公共交通に関する懇談会開催報告について
- ・資料2 市民アンケートについて（まとめ）
- ・資料3 江南市における新たな公共交通（案）について
- ・参考資料1 江南市地域公共交通会議検討部会開催の経緯
- ・参考資料2 江南市の公共交通を考える会からの要望書・回答書
- ・参考資料3 ダイナミックプライシングを実施した場合の市負担額の変動
- ・参考資料4 市民アンケート調査報告書

開会（午後 3 時）

○部会長あいさつ

部会長 本日はお集まりいただきありがとうございます。公共交通に関する話題として、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の法改正が予定されており、このあいだ閣議決定されたところです。社会情勢の話としてイラン情勢があり、燃料費の高騰で、移動の面では非常に影響があり、生活面でも物価高騰に影響します。

普段、自宅から大学まで公共交通で行くこともあれば、自動車で行くこともあります。本日は公共交通で来ましたが、駅には卒業式を迎える高校生がいました。自動車で移動すると自宅から目的地まで早く行けるため、季節を感じることは少ないですが、公共交通での移動は街を歩くことになるので、季節に触れる機会が多くなります。見るだけでなく、匂いや音も聴けるため、公共交通は非常に価値があると今日改めて実感したところです。自動車は非常に便利なので選びがちですが、公共交通の移動をある程度選択するように是非したいですし、地域としてもそういった移動ができるようにしていくことが大事だと思います。

○議題

○江南市地域公共交通についての懇談会開催報告について

部会長 議題（1）「江南市地域公共交通についての懇談会開催報告について」事務局より説明をお願いします。

事務局 資料1および参考資料1、2、3に基づき説明

委員 参考資料3について、いこまいCARの利用の平準化が目的であるため、市の負担額を加味しない試算を検討いただけないか。

部会長 参考資料3の表の見方についてもご説明をお願いします。

事務局 上の表は、午前の利用者負担を5割から6割に上げ、逆に午後の利用者負担を5割から4割に下げた場合に、午前の利用者の一定割合が午後利用に移行するとした市の負担額を示しています。下の表は、利用者負担を午前7割、午後3割とした場合の市の負担額で、いずれも午前利用から午後利用へ10%以上移行した場合は、市負担額は増加しています。
市の負担を変動しない前提とするならば、例えば午前、個人負担6割、午後5割とすることも考えられますが、タクシー事業者において、ダイナミックプライシングの対応可能かという問題もあります。

委員 予約のひっ迫でいこまい CAR を利用できない人を、利用できるようにすることが平準化の目的であるため、ぜひともご検討をお願いします。

部会長 市の負担が増えるということですが、例えば、午前自己負担 5 割で、午後の自己負担を 5.5 割にすると市負担額が下がるかもしれないので、引き続き試算をしていただきたいと思います。後日、(資料を検討部会に) 共有いただくことは可能ですか。

事務局 再検討して、検討部会に情報提供をしたいと思います。

委員 参考資料 2 要望書の回答については、本日協議して検討部会より回答するということですか。

事務局 改めて、書面会議で諮っていきたいと思います。

部会長 公共交通を考える会からの要望の回答については、委員からの意見も含めて(書面会議で)事務局にて再度作成することになりますのでよろしくお願いします。

委員 フラワーパーク江南のバス停留所の利用状況はいかがでしょう。

事務局 1 日当たりの利用者数については 5.1 人、1 便当たり 0.3 人となっています。4 月は曼陀羅寺の藤まつりより多く利用されていますが、秋以降は悪天候もあり利用が伸びていない状況です。

委員 検討部会が今年度 1 回目ということですが、(複数回開いて)意見をもう少し聞いてほしかったです。地域懇談会を開いて区長さんを中心に意見を聞き、市民アンケートで市民の実態を把握されたと思いますが、地域の意見を吸い上げるということをこれからもやっていただきたいと思います。

部会長 地域懇談会について、参加される方で身体が不自由で来ることも難しい方もいると思いますので、その方も含めて意見をどうやって吸い上げていくか、引き続き、地域の懇談会を続けていってもらえればと思います。(参考資料 2) 要望 3 の回答について 1 点補足させていただきます。(新しい公共交通について) 車いす利用者が排除されない対応は非常に必要なことですが、ハイエース等小規模な車両を使うと、定員が少なくなるため、車いすの場合、通常の車両と別の車両(臨時でタクシー車両)を用意する場合があります。対応が難しいところはありますが、いろいろ方法があります

ので、バランスを取りながら検討する必要があると思います。

○江南市地域公共交通計画策定に係る市民アンケート結果について

事務局 資料2に基づき説明

委員 資料2 問25についてA I オンデマンド交通について、分からない方が多いと思いますが、(市民アンケートに際し) ご説明の補足はありますでしょうか。

事務局 参考資料4 13ページのアンケートの設問の中で、A I オンデマンドについてはA I が最適なルートを計算して、乗合などを運行する交通と説明しています。

委員 市民アンケート結果に関して、市民アンケートに回答している方が公共交通に困っている年齢層に絞っているわけではないですが、いかがでしょうか。

事務局 市民アンケートについては、公共交通計画を策定するうえで市民から幅広く意見を集める必要があると考え年齢層を絞らず、市民全体へのアンケートとしております。

部会長 地域を絞ったアンケートは、回覧板等で周知することもできるかと思いますがそのような手法を事務局で考えてもらえればと思います。

○新たな公共交通(案)について

事務局 資料3に基づき説明

委員 運行区域は、市北部以外は考えていないということですか。私の住む古知野東小学校区は今後検討されることはありますでしょうか。

事務局 今回は、北部地域で検討しているもので、北部地域の検討結果により、他の地域での検討を判断していくこととなります。

委員 (新しい公共交通での乗り換えの際に) 名鉄バスが遅れたときなど定時性の確保はどうでしょうか。

事務局 (江南駅での) 名鉄バス、名鉄電車の乗り換え同様に(新しい公共交通を

導入した場合に) 江南団地、江南厚生病院のバス停において、渋滞やバスの待ち時間等を考慮したダイヤとすることが必要だと思っています。

部会長 運賃についても乗り継ぎが発生した場合、2回運賃を払わなくて済む方法であったり、運賃の調整をする必要があります。

委員 料金が1乗車300円ということで、この範囲(市北部)にしては金額設定が高く設定してあると思いますが、いかがでしょうか。

事務局 金額はあくまで仮ですが、市民アンケートの結果からワンコイン500円なら利用するという意見を参考に、また市の財源を考慮し、持続可能な公共交通として必要な額としています。

委員 分かりました。既存路線との競合も考える必要があると思います。

委員 新しい公共交通の前提条件として、いこまいCARの北部地域住民の負担額と同程度とする、とあるので、北部地域の方はいこまいCARの代替手段として、新しい公共交通ということになるではと思います。そうすると、市北部地域の方の一般タクシーといこまいCARの供給は減るのではないかと思います。また、AIオンデマンド交通ですと、システム使用料も必要となるため、そのあたりのランニングコストが必要となると思います。

部会長 事務局の考えとして、定時定路線の巡回バス、AIオンデマンドバスのどちらを導入したい方向性のイメージがあるか、あるいはフラットな考えなのかお聞かせください。

事務局 新しい公共交通の導入案として、いこまいCARの午前中のひっ迫を解消することを目的として考えています。いこまいCARを廃止することは現状難しいため、いこまいCARの役割を補完し、市の負担額を減らすことができる新たな公共交通を導入出来たらと思います。

部会長 市の負担が増えるイコール、地域の公共交通の維持に投資をしているという視点は非常に重要な点かと思っています。

委員 AIオンデマンドバスについては、過去の検討部会資料から、AIオンデマンド交通についてはコストパフォーマンスがかかるということで私は難しいと思ったのですが、最近ではチョイソコふそうの利用は非常に伸びているのでしょうか。

事務局 過去の資料で乗合率は低いとお示ししておりますが、予約に対して、乗車時間の幅を広げることで、乗合率を高めることが可能だと思います。そのため、AI オンデマンド交通についても提案したものです。いこまい CAR は利便性がありますが料金は高い、(AI オンデマンドバスは) 時間の融通の面で利便性は落ちますが、料金は抑えられるということです。

部会長 デマンドで上手くいった自治体はあまり知りません。(岐阜県の養老町で) デマンドを導入して、利用者が便利になったという話は聞きますが、市の負担はそれなりにしています。デマンドにしたときに、乗合の需要がある程度まとまったものが必要なので、いこまい CAR で需要が集中しているかシミュレーションする必要があると思います。

委員 (巡回バスで) 中般若会館から江南厚生病院まで行き、江南団地経由でサンライフまでお見舞いに行こうとする場合、1時間以上かかるという理解でよろしいですか。

事務局 そのとおりです。1時間30分くらいかかると思います。

委員 江南団地から江南厚生病院までのバスが平日5便ありますが、(新しい公共交通を導入する場合に) 江南団地に住む人が、江南厚生病院の予約に間に合うようなダイヤを決めてもらえると利用者としては助かりますが、そのあたりどのようにお考えですか。

事務局 需要がある場所の発着はこれから検討していくこととなります。資料3にお示ししています(費用の観点から) 車両1台で1日4便となると思います。

部会長 車両一台で毎日走らせようとする、平均で2時間に1本となっていますが、個人的には乗らないと思います。例えば、曜日を変えて(曜日運行など) 毎日走らないことも一案だと思いますが、病院の予定に合わないということも起こりえるかと思います。行きはバス、帰りはいこまい CAR という方法も取れると思います。ダイヤについて、名鉄バスとの乗り継ぎを考慮する必要があります。

委員 支払い方法については、現金でしょうか。キャッシュレスでしょうか。社協では市の地域ふくし課と毎年地域福祉懇談会を実施していますが、今年度「どのような移動手段をとっているか」というテーマでグループで話し合った際に、自家用車が多く、免許返納したときに送ってもらう方がなくて困る等意見がありました。公共交通は最大公約数だと理解していま

すが、公共交通（いこまい CAR）を利用したことがないという人もいました。どうやって公共交通を利用してもらうかなどのPRがあわせて必要ではないかと思います。また、（新しい公共交通を導入した際に）今までの公共交通が不便にならないような仕組みも考える必要があると思います。拠点のハブ機能は役割的にいいものだと思うので、そのあたりも上手く発信していただければと思います。

事務局 現状、（支払方法は）想定しておりませんが、ターゲットを高齢者と子育て世代とし、移動先を買い物、通院、公園への外出などの目的を想定しているが需要にあった支払い方法にしたいと考えております。

委員 新しい公共交通案については仮とはいえども具体的な数字が出ており、資料として一人歩きしないか心配だと思いました。仮に新しい公共交通を導入する場合は既存路線の見直しが不可欠となっていくかと思います。それぞれの地域がどのような交通を望んでいるのかとそれぞれの交通モードのメリット、デメリットを把握したうえで地域で決めたものであれば、それを反映していくこととなると思います。

委員 バス停から 500mの距離の設定ですが、もう少し短い間隔でバス停を置いてもらえるよう考えてもらえますでしょうか。また、新しい公共交通を導入する目標年度はありますか。

事務局 地域の声を拾い切れていない状況ですので、今回挙げさせてもらった定時定路線バスと AI オンデマンドバスの運行モードを地域に示し、地域のニーズを把握し、300m、500mにするか等バス停の位置等決めていければと思います。公共交通の手法が決まってから、運行に向けて（バス停の位置は需要を基に）関係機関等と詰めていく予定ですので、具体的スケジュールはお示しできないところです。

部会長 先ほどのバス停の件について、場所によっては2箇所くらい 500m以内にバス停があるかもしれません。いこまい CAR との役割分担と調整はする必要があると思います。また、公共交通計画でスケジュール管理されていまずでしょうか。

事務局 公共交通計画は来年度策定予定なので、目標としてお示ししたいと思います。

部会長 今回出た課題を検討部会に共有してもらうことを条件に、このあと地域に入るということを承認という形をとりたいと思います。

(委員、承諾の全員挙手)

閉会 (午後 5 時 10 分)